



ペットボトルキャップを集め
よう

上田染谷丘高等学校 1年 會田大也

この課題に関わるSDGsの番号



このテーマにした理由

学校の自販機の近くで、ペットボトルキャップを回収する袋があって、この大量のキャップはどこへ行くのだろうかと考えたため。

現状と課題

海に流れるにつれマイクロプラスチックへ

⇒海洋生物や人にも害



10代からの提言

- ・海洋汚染に繋がらないように回収する

⇒スーパーやコンビニだけではなく自動販売機
の近くにも回収箱置くように増やすべき だと思う。

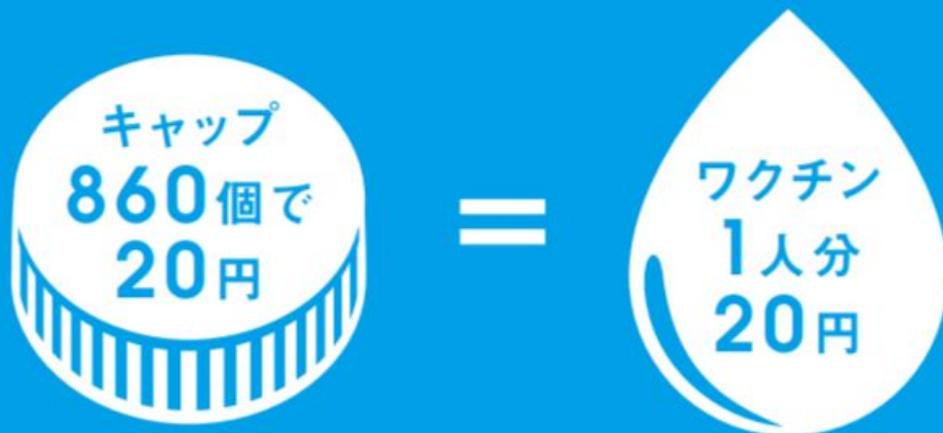
回収率を増やすための工夫も色々ある←

<https://shikakeology.org/pdf/TBC2020020.pdf>



ペットボトルキャップ支援

回収したペットボトルキャップは寄付することで医療支援につながります。



ペットボトルキャップがワクチンにかわるまで



① ペットボトルキャップは、回収業者によってリサイクル資源として売られます



② 売られた際の売却益がJCVへの寄付となります



③ UNICEFと連携して、世界のワクチン工場へワクチンを発注します



④ 製造されたワクチンは冷凍のまま空輸で、支援国へ届けられます



⑤ 支援国のワクチン保管センターで冷蔵・冷凍状態で保管されます



⑥ 各地の予防接種会場で子どもたちへワクチンを接種します

世界で基本的な医療保険サービスを受けることができない人が**36億人**もいます。

基礎的な医療保険サービスを
受けられない人



36億人



世界人口の約半分にあたる

2025年までに世界5才になる前に

その数は約520万人

主な要因は医療保険などの問題で病院に行けないことに加えて、必要な予防接種やワクチン接種を受けることができないということです。

日本では年間、1人あたり183本のペットボトル消費しています。日本の人口1億2000万人だと

219億6000万本

100%回収し、寄付した場合

2553万4883人分ものワクチンを必要な人に届けることができます。

この数のワクチンがあれば、先ほど述べた約520万人もの子供たちを救うことができます！

3 すべての人に
健康と福祉を



感想

普段飲んでいて、身近にあるペットボトルは 悪い方へいくと、環境破壊などにつながり 良い方へいくと3Rや人の命を救うものだと知ることができた。

その良い方へいくためには、とても多くの人々の協力が必要で、その中の1人になりたいと思った。

情報の引用

<https://www.jcv-jp.org/donation/pbcap>

https://sdgs.city.sagamihara.kanagawa.jp/sdgs-17goal/03_good-health-and-well-being/

<https://www.socialinnovationjapan.com/sij-japanese-blog/plasticinjapan>

JCV(認定NPO法人)



ペットボトルキャップが再生原料になるまで

2020年度 足立区分ポリオワクチン寄付

足立区役所本庁舎
協力団体
小学校
中学校
教育保育施設
住区センター

数量 約**2万kg** 金額 約**30万円**

足立区の小学校での取り組み

The infographic has a light blue background. At the top left is a small JCV logo. A dark green banner at the top contains the title. Below it is a list of recipient organizations. A red YouTube play button icon is placed over the '中学校' (middle school) line. At the bottom, a horizontal line separates the list from the summary statistics, which are presented in large orange and brown text.

ぜひ見てください！！